

研究課題名: 疫病の流行による旅文化への影響: 享和3年の麻疹流行を対象として

研究種目: 若手研究

研究代表者: 京都文教大学 総合社会学部 講師 谷崎友紀

(概要)

本研究の目的は、旅が大衆化していた近世後期において、享和3(1803)年の麻疹流行を事例とし、疫病の流行時における旅人の行動と、疫病の旅や名所への影響を解明することである。その考察を通して、近世の人々が旅や疫病をどのように認識していたか、加えて旅と疫病にどのような関係があったかを論じる。本研究は、疫病流行時における旅の状況を解明するだけでなく、現代の観光現象へつながる近世の旅の特質について、新たな知見をもたらす可能性を有する。

※令和7年度研究計画書より抜粋